

| 会 議 記 録 | | | |
|-------------|--|--------------------|------------------------|
| 会 議 の 名 称 | 総務文教常任委員会 | | 会議場所 全員協議会室 担当職員 山内 |
| 日 時 | 平成30年12月12日(水曜日) | 開 議 閉 議 | 午前10時00分 午後 0時 4分 |
| 出席委員 | ◎奥野 ○三上 田中 山本 竹田 小松 福井 | | |
| 執行機関 出席者 | 田中教育長、山本教育部長、和田教育部次長、片山教育総務課長、土岐学校教育課長、平田学校給食センター所長、谷口学校教育課副課長 | | |
| 事務局 | 片岡事務局長、山内事務局次長 | | |
| 傍聴 | 可 | 市民 16名 報道関係者 1名 | 議員 5名(並河、馬場、酒井、平本、小川) |

会 議 の 概 要

10:00

1 開議

2 事務局日程説明

10:03

3 議案審査

(教育部 入室)

10:05～

【教育部】

(1) 第1号議案 平成30年度亀岡市一般会計補正予算(第6号)

教育長 あいさつ・説明

<教育長>

先日の常任委員会における中学校給食に係る審議の中で、部長の認識が若干食い違っている部分があって、委員の皆さんに混乱を生じさせたことをお詫び申し上げます。

昨年10月から、詳徳中学校において、選択制デリバリー弁当を先行実施しているが、本年4月に実施した生徒や保護者、教職員に対するアンケート調査結果からも、デリバリー弁当に対する一定の評価を得たことから、現時点では最善の方法だということ、来年度から市内全中学校に拡大導入を考えているが、このことは本会議の答弁でもそういう形で答えさせていただいたところである。

将来的には、このデリバリー弁当の導入実績を十分に分析し、その拡充も含めた様々な促進策にも取り組んでいきたいと考えている。

そういう状況をしっかり分析し、また議会の意見、生徒や保護者の意識の変化等も確かめるとともに、財政状況等も考慮しながら、教育委員会としても中学校給食の導入について、しっかり研究なり検討を進めていきたいと考えている。

前回の常任委員会の中で、中学校給食については考えないということで捉えられた委

員もおられたとは思いますが、中学校給食についてはしっかり検討していきたいと考えているので理解いただきたい。

10:08

〈質疑〉

〈田中委員〉

先ほど、教育長は中学校給食に係る審議の中で、部長の認識が若干食い違っていたと言われたが、具体的にその内容を説明願う。

部長は政策変更と明言されており、若干の食い違いではないと思うが、どうか。

〈教育長〉

私が本会議で答弁させていただいたように、当面、財政状況等を考慮し、中学校給食の導入について考えていないと答えさせていただいたが、そのことを判断を誤って政策変更と答えたものと思っている。ただ、本会議での答弁のとおり、基本的には中学校給食の実施について、検討会議等を立ち上げて検討していくということで答弁させていただいている。決して中学校給食について議論しないということはないので、その意味では、部長が事実を十分にわきまえずに誤って答弁したものと理解いただきたい。

〈福井委員〉

今まで、デリバリー弁当を進めるための検討委員会を行ってきて、それについて一定の評価があって全体に広げたいとのことであった。その上で完全給食については、現状、障害があり、まして今回、エアコン整備を行っていかねばならないという状況もある。

完全給食について意義はよく理解しているが、それについては検討委員会を立ち上げてでも検討していくと言われたように思う。

そういうことでよかったか、確認をさせていただきたい。

〈教育長〉

基本的には本会議で答弁させていただいたように、給食を実施するのは様々な面でハードルが高いので、そうしたことも含めて議論させていただきたいと考えている。

〈田中委員〉

教育委員会として、中学校給食を基本的にどのように考えているのか。

やるべきものなのか、そうでないのか、はっきり答えていただきたい。

〈教育長〉

子ども、先生、保護者の意識等も十分判断して、その中で議論していきたいと思っている。

当然、中学校給食については、その実施を視野に入れて検討していきたいということで理解いただきたい。

〈小松委員〉

今、学校給食を視野に入れて検討するということがあったが、検討委員会においてはゼロベースから考えるのではなく、学校給食を視野に入れての検討委員会ということでよかったか。

〈教育長〉

財政状況もあるし、給食をどのように整備するのか、学校の受け入れ体制がどうなのかも含めて、多くの課題があるので、しっかり議論した中で実施に向けて、学校給食を視野に入れて議論していきたいと考えている。

〈三上副委員長〉

田中委員からの、本来、中学校給食はするべきものなのかという問いに対して、ストレートには答えが帰ってこなかったように思う。

小松委員からもゼロベースではなくて、学校給食の方向で検討委員会を始めるのかという質問についても明確な答えがなかったように思う。

その辺りについて、もう少し説明願う。

<教育長>

子どもの今の実態、保護者の意識、教師の働き方や給食指導に係る負担ということもあるので、そういったことを総合的に考えて議論していきたい。

当然、中学校給食の実施を視野に入れてということを行っているので、すべきかすべきでないかということについては、そうしたことも踏まえて議論したいということである。

<三上副委員長>

できるかできないかは、その時その時で判断すればよいことであるが、本来、亀岡市として、あるいは教育委員会として中学校給食を実施すべきという立場に立っているのかどうか、明確に答えていただきたい。

<教育長>

保護者や子どもたち、また先生方の働き方も視野に入れて議論していく中で、方向をきっちりと示していきたいと考えている。

初めに結論ありきという形では、今のところ考えていない。もちろん、学校給食法では中学校給食が望ましいと言われているので、それを視野に入れてしっかり議論していきたい。

<三上副委員長>

法の理念は尊重するということでよいか。

<教育長>

そのとおりである。

<福井委員>

選択制デリバリー弁当を全校に広げる意義、メリットを端的に答えていただきたい。

<教育部長>

保護者からは給食実施を求める声が大変強い中で、今、弁当を持って来れない場合の対応策として選択制デリバリー弁当があること、弁当づくりの難しい緊急時等の保護者の負担軽減が図れる面からもデリバリー弁当を導入していきたいというのが基本的な考え方である。

<福井委員>

亀岡市では朝食の喫食率が低いということを聞いている。それから、当然、お弁当を持って来ない生徒はお昼も食べないというようなことも聞いている。

選択制デリバリー弁当は、400円も出して買えない子どもがいるとか、食育につながらないといったデメリット、批判があるのは間違いないが、今言ったような朝も昼も食べない子どもたちが、保護者がお弁当を入れられない事情があったり、子どもも自分で入れないといったような場合に、社会的ニーズがある。いつもは入れているが明日は入れられないという時にデリバリー弁当は使える。

そういう観点から言うと、今までお弁当だけでやってきたよりも確実によいということを書いていただきたいし、私はそう思っている。

それが全校に広がることで朝も昼も食べない、育ち盛りの子どもたちが一定救われるというベースを教育委員会が持っていないと、なぜ広げるのかと言われたときに答弁が耐えられないのではないか。

<教育長>

デリバリー弁当導入後の保護者・生徒へのアンケート結果の中で、実際に利用した生徒の意向を確認すると、今後も利用したいという一定の評価も得ているので、その部分についてはデリバリー弁当は最適な事業と認識している。

<三上副委員長>

デリバリー弁当のアンケートをされた中で、物理的な弁当づくりが困難な保護者の負担軽減という部分については理解するところもあるが、もう一つ、栄養バランスのとれた昼食をとることに寄与するという答えは、アンケートの中でどれぐらいであったのか。

<学校教育課長>

保護者がデリバリー弁当を利用している理由の中で、16.39%の保護者の方が、栄養バランスがよさそうなので取っているというアンケート結果が出ている。

<三上副委員長>

デリバリー弁当を注文しない方の意識はアンケートをとっているのか。

<学校教育課長>

デリバリー弁当を利用したことがあるかないかという部分で、アンケートはとっている。

<三上副委員長>

弁当づくりの困難と、経済的な困難がある。

デリバリー弁当は給食ではなく昼食の提供なので、補助にはかからない。

200円、300円を握りしめて、コンビニの弁当やパンを買う生徒は、バランスのとれた栄養のある昼食はとれていない。せっかくのデリバリー弁当も注文できない生徒がいることは把握されているのか。

<学校教育課長>

先ほどの質問で、答弁を訂正させていただきたい。

デリバリー弁当を利用したくないということで保護者にアンケートをとっているが、その中で利用したくない理由としては、

子どもには少し量が多い 3割

利用している生徒が少ない 3割

子どもが受け取り、返却に時間がかかって嫌がる 3割

となっている。

<山本委員>

来年度から全校で選択制デリバリー弁当を導入していく方向で考えておられるが、価格が高いと認識されていたり、栄養面で心配されている方がおられる中で、事業を実施されてもいろんな面で改善していく考えがあるのか確認させていただきたい。

<教育部長>

利用拡大に向けて、メニューや費用負担等、まだまだ改善していかなければならない部分があると思っている。

一般質問で市長が答弁させていただいたように、全校でデリバリー弁当を試食してもらう機会の検討も必要であると考えており、総合的に拡大に向けて検討しながら実施していきたい。

<竹田委員>

今後、学校給食の検討もされる中で、現在、デリバリー弁当を全校に広げていくことについて、費用面等のハードルの高い部分についての検討はどこでされるのか。

<教育部長>

拡大実施を来年度以降に考えているので、しばらくは全体的な様子も見なければならぬと思っている。

検討委員会については今後、必要な時期に立ち上げていきたい。

<竹田委員>

検討委員会については速やかに立ち上げていただき、ハードルを下げるなり、市民ニーズに合ったものに改善していく中で、全校に拡大していくべきだと考えるが、どうか。

<教育部長>

デリバリー弁当の拡大に向けた取り組みについては、先行的に検討していきたい。実施した後の生徒、保護者の意向を確認する中で、検討委員会については、必要な時期に設置していきたい。

<竹田委員>

いつという期限はないが、その間、よりよいものにしていかなければならないので、今後、しっかり取り組んでいただきたい。

<田中委員>

経済的理由で弁当を買えない人が必ず出てくると思う。そういう人に対する支援策を早急に出してもらわないと、デリバリー弁当をいくら広げても大きな問題が残ってくるように思うが、どうか。

<教育部長>

デリバリー弁当は学校給食の実施基準を満たしていないので、就学援助の対象にはできない。

デリバリー弁当の導入は、弁当を持参できない場合の対応や保護者の弁当づくりの負担軽減への早期対応のためである。

準要保護の生徒の中からも家庭からの弁当持参の方もるので、そうした方の均衡も考慮すると、現時点ではすぐに支援を行うのは難しい状況があるが、その部分については、併せて検討していきたい。

<三上副委員長>

デリバリー弁当は給食ではなく、昼食の提供であるということだが、学校給食法の理念に基づいて、今は財政面等、問題がある中ではあるが、将来的には給食を目指して検討委員会を立ち上げることは可能だと思うが、どうか。

<教育部長>

デリバリー弁当の実施状況を見ながら、必要な時期に検討委員会を立ち上げて、検討していきたいというのが基本的な考え方である。

<三上副委員長>

それはあくまでも昼食の提供であるデリバリー弁当の意識動向を見ていくことであって、その結果を受けてということでは、給食と関係ないのではないか。

完全給食を目指すということを教育長も言われているので、同時並行で検討するのはかまわないのではないか。

<教育部長>

冒頭に教育長が申し上げたように、将来的には学校給食も視野に入れて検討していきたい。

(質疑終了)

4 討論～採決

(委員間討議)

<三上副委員長>

今までの説明で、11月21日の総務文教常任委員会で表明された状況に立ち戻ったと皆さんは認識されているのか。

<福井委員>

一定、理解した。

一般質問での教育長の答弁にもあったように、検討委員会を立ち上げて検討していくということで理解していた。その後、先週の委員会でひっくり返ってしまったが、今日の説明で給食については検討委員会で検討するということで理解した。

<竹田委員>

補正予算の際の説明で、根本的なところが崩れるのであれば採決に影響すると思ったが、今回の説明で前の状況に戻ったように思う。市の補てん等、現状で不足する部分については指摘要望等を行うということで考えている。

<山本委員>

完全給食に関しては検討委員会を設置して、実施に向けて検討していくと言われたので一定、理解する。

<小松委員>

学校給食を視野に入れて、検討委員会で検討するということであったので、完全に納得いかない部分はあるが、今日の説明で一定、理解した。

<三上副委員長>

市民の方は、一部のマスコミ報道で動揺されていたように思う。

給食についての方針撤回と書かれていたが、今回の説明では、撤回を撤回したということで理解した。

<田中委員>

中学校給食に対する基本的な立場が、視野に入れてということでバクツとしている。その方向でやるという前提が明言されないのが残念である。

これまでの決算特別委員会や11月の常任委員会の説明からは、後退したままだと思ふ。

<福井委員>

今回、補正予算に計上されているエアコンの全校設置については、非常によいことだと思ふ。これまで亀岡市は少しずつ設置を進めてきたが、国の政策で多くの補助金が出るようになったことはよい機会であると思ふ。

設置後の電気代等のランニングコストが心配であるが、皆さんの考えはどうか。

<小松委員>

来年の夏も酷暑が続くと思ふので、喫緊の課題として解決しなければならない問題である。

チャンスが与えられた部分については、最大限利用して設置を進めていただきたいという強い思いは持っている。

<田中委員>

今年の夏の状況を見れば喫緊の課題ということで、国も予算措置をすることになったと思ふが、それを受けて亀岡市が実施するということであるので、一歩前進として評価したいと思ふ。

工事の施工が長期休暇でないと出来ないということになれば、暑い夏が済んで秋にならないとエアコンが使えないということがないように、授業をしながらということで難しい面もあると思うが、工夫して、一日でも早く設置していただきたいと思う。

<山本委員>

今年は酷暑で、熱中症で亡くなられた方も多くあったので、できるだけ来年の夏までには設置していただきたいという思いがある。

このチャンスを大いに生かしていただきたい。

<三上副委員長>

今がチャンスであるので、少しでも早く設置できる方向でしていただきたい。

ただ、ランニングコストや後の運用の問題について、今までにも亀岡川東学園にエアコンが設置されていても、他の学校に設置されていないので、つけないということがあった。調査してみないとわからないが、小学校でも同じようなことがあったように聞くので、子どもたちのためにもちゃんと有効に運用されているかを見ていかなければならないと考える。

(休 憩)

10:42～11:00

(再 開)

《討論》

<田中委員>

一般会計補正予算（第6号）について、とりわけデリバリー弁当に関して、先ほど教育委員会から説明があり、教育長は若干の食い違いということを言われたが、若干の食い違いではなかったと思う。

それは訂正されているが、もっと明確に言うべきであると思う。

中学校給食の完全実施を視野に入れてということだが、これを明確にしてほしいということをお願いしたい。

デリバリー弁当は昼食提供であるということを行っているのも、それが給食でないということも認めている。検討委員会を立ち上げるということだが、できるだけ早く中学校給食が実施されるよう、強く求めていきたい。

一方で、デリバリー弁当に対しても、そうしてほしいという要望があるということ、それを無視することもできないと思うので、私は限りなく反対に近い賛成をせざるを得ないと思っている。

<竹田委員>

一般会計補正予算（第6号）について一定、疑問があつて、まだそれがぬぐいきれていない部分もあるが、今後に向けての方向性ももとに戻ったということで、少し明確になったと思うが、やはりこの制度は最低限の施策だと思っており、今後も充実していったらきたいという思いは強くあるが、やはり当初に帰った中で、将来の見通しももらったので賛成したい。

<山本委員>

一般会計補正予算（第6号）に賛成の討論をさせていただく。

デリバリー弁当の拡充については、必要とされている方もいるので実施すべきと考

えるが、完全給食を視野に入れる中での実施であること、いろいろな課題が残っているので、その課題を早急に改善していただくことを強く要望して、賛成とさせていただきます。

<小松委員>

一般会計補正予算（第6号）で、デリバリー弁当については、中学校給食を視野に入れて検討していくという方針も示された。

現状では学校の空調設備の整備を緊急に進めていかなければならないということもあって、いろいろ経費のかかる部分もあるので、一気に完全給食を実施するのは困難であり、デリバリー弁当を広げていく中で検討して、最終的には完全給食ということで方向性が見出されたので、賛成とさせていただきます。

<田中委員>

委員長報告の中に、今出された意見・要望を付していただきたいと思います。

<福井委員>

指摘要望等は採決の後で諮られるということでよいか。

<奥野委員長>

その予定である。

《採決》

<奥野委員長>

賛成者は挙手願う。

| | | |
|--|------|----|
| 第 1 号議案（一般会計補正予算（第6号）） | 挙手全員 | 可決 |
| 第 6 号議案（西加舎財産区特別会計補正予算） | 挙手全員 | 可決 |
| 第 7 号議案（神前財産区特別会計補正予算） | 挙手全員 | 可決 |
| 第 8 号議案（特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する 条例の一部改正） | 挙手全員 | 可決 |
| 第 9 号議案（職員の退職手当に関する条例の一部改正） | 挙手全員 | 可決 |
| 第10号議案（教育委員会委員定数条例の制定） | 挙手全員 | 可決 |
| 第11号議案（市立幼稚園条例の一部改正） | 挙手全員 | 可決 |
| 第16号議案（辺地総合整備計画の変更） | 挙手全員 | 可決 |
| 第18号議案（町の区域及び名称の変更） | 挙手全員 | 可決 |
| 第19号議案（一般会計補正予算（第7号）） | 挙手全員 | 可決 |
| 第24号議案（一般職員の給与に関する条例の一部改正） | 挙手全員 | 可決 |
| 第25号議案（特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正） | 挙手全員 | 可決 |

《指摘要望事項》

<奥野委員長>

指摘要望事項はあるか。

<福井委員>

デリバリー弁当のあり方、今後の問題点等をまとめていただき、それを指摘要望事項としていただきたい。

また、エアコンの設置について、せっかく補正予算で計上されているので、早期に

整備を進めていただくとともに、今後のランニングコストについても早急に詰めていただくことを指摘要望していきたい。

<三上副委員長>

今の福井委員の指摘要望の趣旨については、私も同じである。

また、田中委員も言われていたが、京都市のように注文弁当が3割から4割で、それを給食と言い張っているような事例もあるので、デリバリー弁当に対する不安感、危険感があると思う。これはあくまでも昼食の提供であり、これを給食の1つの形態ということを書いてほしくないという思いから指摘を付けたいと思っている。デリバリー弁当を実施して検証を進めてもらう一方で、完全給食を目指した動きを早く作ってほしい。ぜひとも、市民・保護者の声が反映される検討委員会を望みたい。

<福井委員>

委員長報告には当然、盛り込んでいただきたいが、私が言ったことは指摘要望事項として挙げていただきたい。文言については、正副委員長でまとめていただきたい。

<小松委員>

私も福井委員と同じ意見である。

<奥野委員長>

ただ今、各委員から出された意見を正副委員長で、指摘要望事項等としてまとめさせていただきます。よろしいか。

— 全員了 —

11 : 20

5 請願について(討論～採決)

(1) 受理番号1 亀岡市の中学校において、安全で、温かく、おいしい、全員喫食の給食を、早急を実施することを求める請願

《討論》

<田中委員>

賛成の立場で討論する。

中学校給食の実施が大前提になると思うので、この請願の採択によって、教育委員会なり亀岡市にその立場をさらに迫っていくということからも請願の採択は重要だと思っている。

そうした意味で、委員の皆さんにはぜひ賛成していただきたいということを申し上げて、賛成討論としたい。

<福井委員>

この請願に不採択の立場で討論させていただく。

中学校給食の完全実施については、先ほどらい議論しているが、全委員が賛成であり、この請願の趣旨については、ほぼ賛成の立場である。

デリバリー弁当を導入することで給食がなくなるのではないかという不安、給食を全く目指さなくなるのではないかという不安から請願をされたのだろうという感じを持っている。

全国的には90%近くが中学校給食を実施されているので、大変恥ずかしいことであるので、そのことをしっかりと指摘した文言の意見書を提出させていただきたいと思っている。今後のデリバリー弁当の検証も含めて、意見書を出していきたいということを持って、請願の趣旨には賛同するが、原案については反対させていただ

く。

＜田中委員＞

中学校給食を早期に実施させていくということでは、意見が一致していると思う。ただ、来年度から実施予定の選択制デリバリー弁当についての評価が、請願の中では同意できないということだと思う。

デリバリー弁当に対する意見の相違はあると思うが、学校給食を実施していくことでは一致しているので、趣旨採択という形がとれないか、委員会として諮っていたきたい。

＜福井委員＞

申し出はよく理解するが、私的には、請願というのは非常に重たいものであるので、議会としては出されている文言やその背景にある考え方を明確にした上で、それを採択するのか、しないのかを判断していきたい。

＜小松委員＞

私は福井委員と同じ考え方である。

この請願の趣旨に6千人の皆さんが署名されているのであり、趣旨採択では請願の意味が変わってくるのではないかと思う。

＜奥野委員長＞

趣旨採択について諮りたい。

趣旨採択について、賛成者は挙手を願う。

(賛成者少数)

＜奥野委員長＞

趣旨採択は行わないこととする。

＜採決＞

＜奥野委員長＞

賛成者は挙手願う。

受理番号1 亀岡市の中学校において、安全で、温かく、おいしい、全員喫食の給食を、早急に実施することを求める請願

挙手少数 不採択（三上副委員長、田中委員 賛成）

11 : 35

6 陳情・要望について

- (1) 平成31年度理科教育設備整備費等補助金予算増額計上についてのお願い
(聞き置く程度とする)

7 その他

(1) 議会だよりの掲載事項について

— 下記のとおり決定 —

○第 1号議案 一般会計補正予算（第6号）

- ・学校運営経費（選択制デリバリー弁当関係）
- 第19号議案 一般会計補正予算（第7号）
- ・学校建設事業費（空調整備関係）

（2）わがまちトーク（自治会版）の意見対応について

- ・わがまちトーク
 - 宮前町自治会 （10 / 16）
 - 千歳町自治会 （10 / 22）
 - 本梅町自治会 （10 / 24）
 - 畑野町自治会 （11 / 4）
 - 東本梅町自治会 （12 / 1）
- 別紙のとおり —

（3）次回の日程等について

＜奥野委員長＞

次回は12月14日（金）午前10時から、委員長報告の確認を願う。
他になければ、本日はこれにて散会とする。

散会 ～12:04